

公益財団法人斎藤茂吉記念館平成30年度事業報告書

概要

郷土が生んだ偉大な歌人斎藤茂吉の功績を称えるとともに、茂吉に関連する作品・資料等の収集保存と、多くの輝かしい業績を永く後世に伝え、地域の学芸及び文化の発展に寄与するための館内展示整備・設備の拡充、より深い理解を得るための情報提供としての解説機器類の設置、斎藤茂吉に対する理解と短歌の向上のための講座・歌会・短歌作品募集等の事業を行った。さらに、毎年継続的に実施している斎藤茂吉を記念する顕彰事業を関係自治体等の協力を仰ぎながら実施した。

また、法人運営に関しては、開館50周年記念事業として斎藤茂吉記念館リニューアル事業(展示リニューアル及び建物改修・設備更新・バリアフリー化)計画実施と、オープニングセレモニー・竣工祝賀会及び開館50周年祝賀会の開催、斎藤茂吉記念館友の会・リニューアル事業募金活動を行った。

1, 公益事業

(1) 斎藤茂吉に関する情報・資料等の展示(斎藤茂吉記念館の公開)事業

ア, 斎藤茂吉記念館の一般公開(入館者実績)

○一般入館者	7,572人(個人5,553人・団体2,019人)
○観光契約入館者	362人(個人8人・団体354人)
○身障者(付添者)割引入館者	250人
○減額・免除・招待入館者	2,901人(減額1,605人・免除949人・招待347人)
合計	11,085人(開館日数281日/1日平均39人)

※休館日80日(管理規則改正による毎週水曜日休館、建物・展示等改修工事期間中の休館を含む)

イ, 常設展示 - 地階: 常設展示室「茂吉世界へのいざない/森羅万象」展(共催事業)

斎藤茂吉の足跡を辿りながら、数々の業績と魅力を伝える作品「自筆書画・原稿・書簡・著書・遺品など」の展示ほか、茂吉を深く理解するためのデジタル機器・グラフィック解説板の活用とともに、ふるさと山形・上山を生涯愛し続けた茂吉の様子を、ジオラマ等により紹介することを主軸とした新たな展示構成で実施した。

○茂吉世界へのいざない(動画・ジオラマ演出) ○茂吉森羅万象(国内・海外・ふるさと/デジタル画像等展示) ○茂吉交遊相関図(少年期・青年期・壮年期・医学期・晩年期) ○茂吉とふるさと山形・上山(茂吉少年の庭/生家周辺古地図) ○茂吉の生涯(ジオラマ解説:2台) ○茂吉の作歌姿勢 ○医学者茂吉(ジオラマ解説) ○茂吉の書画 ○茂吉の業績 ○茂吉の交遊 ○茂吉の著書 ○茂吉の肖像 他

ウ, 常設展示 - 地階: 映像展示室「斎藤茂吉の世界とその時代」

斎藤茂吉の生涯を概観し常設展示資料を補足するための展示映像について、定時的上映(約18分間)を実施した。(デジタルハイビジョン画像/静止画) ※映像解説資料「映像に出てくる斎藤茂吉のうた」を室内に配置(常時)

エ, 常設展示 - 1階: 集会室「茂吉の晩年そして終焉へ、家族・周辺の人びと」展(共催事業)

斎藤茂吉が死去した居間・書斎(晩年の居室)の復元展示、茂吉晩年の様子を示すエピソードと密接にかかわる人々を紹介し、関連資料の展示を実施した。(関連映像「父・茂吉の思い出」・情報検索装置等「茂吉アーカイブス・茂吉ライブラリー」の設置活用)

オ, 常設展示 - 1階: ロビー「茂吉の人となり」「短歌とは/短歌全史」「斎藤茂吉短歌文学賞」「斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール」の展示

展示室入口(階段・エレベーター通路脇)壁面を利用した展示として、タッチパネル式ディスプレイ(デジタルコンテンツ: 斎藤茂吉記念館概説・茂吉全史/年譜・茂吉歌碑マップ)とグラフィックパネル(短歌とは・短歌全史/近代短歌の系譜)の掲示、メッシュパネル(斎藤茂吉短歌文学賞

／事業概要・各回受賞者) (斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール／事業概要・最新の最優秀賞受賞者作品 6 首)の掲示を行った。

カ、常設展示 - 別棟(みゆき公園内)：「箱根山荘の勉強部屋」の設置

神奈川県箱根強羅の斎藤家別荘離れとして、茂吉が毎年夏に避暑・原稿等執筆のため利用した「箱根山荘の勉強部屋」と「移築記念碑」の継続設置(上屋内)に伴う、音声解説装置と解説板(グラフィック展示)を設置した。※人感センサーによる音声解説と照明設備の起動設備設置

キ、常設設置 - 1階：ロビー「キッズサロン」「茂吉なりきり写真館」「茂吉短歌ポスト」等の各設置

入館した子どもから大人まで、楽しく遊びながら斎藤茂吉に親しむ空間として、ロビーの一部を利用した「キッズサロン」(茂吉短歌かるた・茂吉パズル・市販の学習遊具・絵本などを配置)、茂吉に変身して記念撮影を行う「なりきり写真館」、短歌の普及として気軽に作歌するための「茂吉短歌ポスト」の館内投稿窓口(自立ポスト)、茂吉自作短歌朗詠(継続設置)の各設置を行った。

ク、常設設置 - 「展示情報等音声解説機器／音声ガイド」の設備設置と活用

施設概要・展示内容・作品鑑賞等の情報提供による入館者のサービス向上等を目的とした機器設備(20台)の展示・設備等変更に合わせて内容の更新を行うとともに有料貸出を実施した。また、機器貸出時においてプログラムガイドを利用者に配布した。平成30年度貸出利用台数：249台

ケ、特別展 - 地階：守谷夫妻記念室「斎藤茂吉記念館リニューアル記念／斎藤茂吉の隠れた名品展」(共催事業)

新装した常設展示室内展示資料の補足と、館内の展示構成から常設の展示が比較的難しい収蔵品を対象に、茂吉の側面を捉えながらより深く知るための資料展として、斎藤茂吉記念館リニューアルオープンに合わせて会期で実施した。(展示ケース2台増設と壁面展示ケース内の設備等更新後の初回展示、チラシ・ポスター等印刷物作成のうえ周知) また、第44回斎藤茂吉記念全国大会時(平成30年5月13日)には館長ギャラリートークを行った。

※展示資料点数：33点(解説・写真等パネルを含む)

※会期：平成30年4月27日(金)から同年8月19日(日)まで「93日間」

コ、特別展 - 地階：守谷夫妻記念室「斎藤茂吉記念館開館50周年記念／収蔵資料展」(共催事業)

斎藤茂吉記念館の開館50周年記念式典行事当日を会期初日に合わせた特別展として、常設展示室内の展示資料に関連しながら、現時点における当館主要収蔵品(重要品・新規資料等)の最大限の活用・展示を行い、50周年の周知と来館者の高い満足を得るための資料展として実施した。(チラシ・ポスター等印刷物作成のうえ周知)

※展示資料点数：35点(解説・写真等パネルを含む)

※会期：平成30年9月1日(土)から同31年3月31日(日)まで「176日間」

(2) 資料の収集保存・整理と調査・報告事業

ア、資料等の収集と収蔵品の管理

斎藤茂吉を中心とした作品・資料等の収集、寄託品を含む収蔵品を円滑に管理・活用するための詳細調査と整理を行った。

	平成29年度	平成30年度/新規
○基本財産収蔵品(A評価資料)	1,913点	1,775点 + 138点
○その他の収蔵資料(B評価資料・C評価額無資料)	2,781点	2,714点 + 67点
○除外資料(工事用記録映像・一般歌集・図書等)	3,704点	(3,582点 + *122点)
○新規除外資料(図書資料のみ)	113点	(*122点) 113点
計	8,511点	8,193点 + 318点

※寄託品資料《個人短期:946点/個人長期:185点/上山市:2,208点/山形県:1点》

計 3,340点

収蔵資料数 合計 11,851点

イ、斎藤茂吉に関する調査研究・啓発・年次報告等のための印刷物の発行

◎「平成 29 年度斎藤茂吉記念館年報 通巻第 33 号」(2017/4～2018/3)

※A4 判 22 頁(平成 31 年 3 月 31 日発行)

◎館報「茂吉記念館だより 第 20 号」

○A4 判 4 頁(平成 30 年 7 月 30 日発行) ※斎藤茂吉記念館リニューアル特別号

◎館報「茂吉記念館だより 第 21 号」

○A4 判 4 頁(平成 31 年 3 月 31 日発行) ※斎藤茂吉記念館開館 50 周年特別号

(3) 学芸及び文化振興のための普及事業

ア、斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール(共催事業)

◎平成 29 年度第 15 回応募作品における最優秀作品表彰式

最優秀賞受賞者 6 人の表彰式を、第 44 回斎藤茂吉記念全国大会開催時(平成 30 年 5 月 13 日)に実施した。※会場：三友エンジニア体育文化センター・エコーホール

◎第 16 回短歌作品募集と選考(作品選歌)

○小・中・高校の児童・生徒を対象とした短歌作品の応募要項策定(チラシ印刷)・募集(学校単位の応募：1 人 1 首)を実施した。(募集期間：平成 30 年 11 月 14 日から同 31 年 1 月 15 日まで)

※全応募数：10,398 首(県内 5,212 首・県外 5,186 首)139 校(県内 76 校・県外 63 校)

○選考委員による作品選考(第 1 次審査「200 首選考」平成 31 年 1 月 31 日)(第 2 次審査「60 首選考/重複選考により 47 首」同年 2 月 13 日)(最終選考「6 首/小・中・高校各 2 首」同年 2 月 20 日)を実施するとともに、最終選考後に最優秀賞を発表し、関係機関・報道等に周知した。

※第 1 次選考選者：山形県内在住の歌人 13 氏/第 2 次・最終選考選者：県内外著名歌人：大瀧保・栗木京子・坂井修一の 3 氏

○最優秀賞の表彰式は、令和元年 5 月 19 日開催の第 45 回斎藤茂吉記念全国大会(平成 31 年度事業)において実施するものとし、また、優秀賞を対象とした賞状の授与に伴う準備を行った。(最優秀賞・優秀賞の各賞状：令和元年 5 月 19 日付)

◎第 16 回入選作品集の発行

最優秀作品・優秀・入選作品全 200 首と選考委員の選評・最優秀作品受賞者のことば等を掲載した作品集「平成 30 年度第 16 回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール入選作品集 桜実(Sakurago)」を、平成 31 年 3 月 15 日付で発行し、県内市町村教育委員会、協力学校(小・中・高校)、図書館等に配布した。※A5 判 59 頁

◎最優秀作品掲示(斎藤茂吉記念館内ロビー)

最優秀作品(小・中・高校各 2 首/計 6 首)について、斎藤茂吉記念館内(1 階ロビー)において各部門ごとに掲示した。

イ、講座等事業

◎第 13・14 回定例歌会(共催事業)

斎藤茂吉記念館の周知・誘客と短歌実作の向上等を目的に、超結社の歌会形式による定期的歌会(平成 25 年度からの継続事業)として年度内 2 回(第 13・14 回)を実施した。また、各回の歌会参加者に対して配布する資料を作成した。さらに、歌会終了後は特別展等展示作品解説(館長ギャラリートーク)を関連行事として行った。

※会場(各回共)：斎藤茂吉記念館内集会室・定員(各回共)：50 人

※実施日・参加者数：第 13 回/平成 30 年 7 月 29 日(日) 38 人(申込 47 人)

第 14 回/ 同 年 11 月 11 日(日) 49 人(申込 53 人)

※参加費：有料(歌会配布資料等の実費)

※講師/歌評(各回共)：秋葉四郎 氏(館長・歌人)/司会・進行(各回共)：市内歌人 1 人

◎出前(出張)講座(講師派遣/職員)

○上山市観光ボランティアガイド協会設立 20 周年記念講演会 講話：秋葉四郎館長、期日：平

成 30 年 11 月 16 日(金)、場所：月岡ホテル

ウ、茂吉短歌ポスト(共催事業)

短歌の普及拡大と啓発のため、広く短歌作品を募集し選歌・作品集刊行等を行う通年実施の事業として「短歌ポスト」を設置するとともに、投稿用紙を兼ねた印刷物の作成・配布(観光施設等)、投稿作品の選歌(県内主要歌人による選歌「入選 3 首・佳作 5 首」)と入選者公表、入選・佳作・投稿全作品を掲載する「茂吉短歌ポスト作品集第 26 集」の発行を実施した。また、第 48 回かみのやま温泉全国かかし祭会期中の特別投稿箱かかしの出品(市民公園[上山市役所東側]内：9/29～10/8)と「こども短歌かかし」募集に伴う選歌(応募作品 1,149 首より小学校・中学校の各部門選考/最優秀賞 1 首・優秀賞 2 首の各部門ごと計 3 首/全 6 首)と表彰式の実施協力を行った。さらに常設館内設置のポストと関係印刷物(投稿用紙)の再編等を行った。

○選歌のための選者(県内主要歌人/大瀧保・早坂富美子・山川ひろみの 3 氏)の任命と選歌(50 首程度を目処に依頼、入選・佳作者には賞状を贈呈、選歌結果を報道機関等に周知)

※第 123 回選歌(早坂富美子選)：平成 29～30 年度内投稿分 32 首について選歌

※第 124 回選歌(山川ひろみ選)：年度内投稿分 41 首について選歌

※第 125 回選歌(大瀧保選)：年度内投稿分 111 首について選歌

○「茂吉短歌ポスト作品集 第 26 集」の発刊 第 121・122・123 回の各回入選・佳作作品と全投稿作品(268 首)を収載し、平成 31 年 3 月 15 日付で発行した。

※A5 判 53 頁(応募者全員・関係者・関連施設・関係団体等に配布/送付)

エ、ホームページの設置

斎藤茂吉記念館・斎藤茂吉の諸情報の提供、諸事業に関する情報発信等を目的として、公式ホームページの継続設置と定期的情報更新を行った。(URL <https://www.mokichi.or.jp>) さらに、設備・展示等新装に伴う全面的なリニューアル(SNS 対応・物販面の強化)を実施した。

(4) 歌会及び記念事業等、斎藤茂吉の業績顕彰の事業

ア、斎藤茂吉記念全国大会(共催事業)

斎藤茂吉の業績顕彰と学芸文化の振興のため、斎藤茂吉記念全国大会と同記念歌集の事業について第 44 回(集)を実施した。

さらに、次年度開催予定の同大会第 45 回の事業計画策定及び参加・歌集第 45 集投稿募集案内等を実施した。

◎第 44 回斎藤茂吉記念全国大会の開催

○平成 30 年 5 月 13 日(日)：墓前行事(宝泉寺/関係者のみ)・斎藤茂吉記念館見学(特別展展示解説：館長ギャラリートーク) 参加者：60 人/第 29 回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式(賞の贈呈・選考経過報告・受賞者挨拶)・第 15 回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール最優秀作品(受賞者 6 人)表彰式「平成 29 年度応募作品」・記念シンポジウム(討議：大島史洋《基調提言》・雁部貞夫・栗木京子《進行》・東直子の 4 氏/演題「これからの短歌、記念館・文学館」) 参加者：237 人(三友エンジニア体育文化センター・エコーホール)/記念レセプション(月岡ホテル) 参加者：62 人

◎斎藤茂吉記念歌集第 44 集の発行

一般投稿作品と児童・生徒秀歌作品を収載し斎藤茂吉生誕日の平成 30 年 5 月 14 日付で発行した。

○A5 判 117 頁 一般作品：518 首(人)・児童・生徒秀歌作品(第 15 回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール入選作品)：200 首、計 718 首収載

◎第 45 回斎藤茂吉記念全国大会事業実施(同記念歌集第 45 集発刊)計画策定及び参加・投稿募集

○運営委員会の開催(平成 30 年 9 月 21 日)斎藤茂吉記念館集会室：「第 45 回斎藤茂吉記念全国大会日程・同記念歌集第 45 集募集要項等について」「運営委員の委嘱状交付」委員(歌人)：大瀧保・鎌上純子・雁部貞夫・布宮雅昭・皆川二郎の 5 氏/※第 45 回斎藤茂吉記念全国大会参加と同記念歌集第 45 集投稿募集及び周知(募集期間：平成 30 年 11 月～同 31 年 4 月)

○第 45 回斎藤茂吉記念全国大会：令和元年 5 月 19 日(日)

墓前行事(宝泉寺)・金瓶茂吉ゆかりの地等散策・斎藤茂吉記念館見学/第30回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式・第16回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール最優秀作品表彰式・記念講演会(講師:大辻隆弘氏/演題「茂吉とことば」)・記念レセプション

※会場:三友エンジニア体育文化センター(エコーホール)・記念レセプション会場:月岡ホテル
○斎藤茂吉記念歌集第45集の発刊に伴う投稿募集

イ、斎藤茂吉短歌文学賞の実施(共催事業)

○第29回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式(第44回斎藤茂吉記念全国大会開催時/平成30年5月13日(日)・会場:三友エンジニア体育文化センター・エコーホール 受賞者:大辻隆弘氏/作品:『景德鎮』(砂子屋書房刊)

○第30回斎藤茂吉短歌文学賞 受賞者:春日真木子氏/作品:『何の扉か』(角川文化振興財団刊)

ウ、第52回茂吉忌合同歌会(共催事業)

斎藤茂吉を顕彰するとともに県内歌壇等の振興・交流等を図るための茂吉を偲ぶ歌会として平成31年2月24日(日)に開催した。事業実施に際して歌会参加及び作品募集要項の策定、第52回作品集・入選作品集の発行(歌会当日発刊)を行った。会場:三友エンジニア体育文化センター・軽スポーツルーム 歌会実施内容:分科会・選者講評・特選入選者表彰等 ※出詠数:120首(人)・歌会出席者:60人(一般42人・関係者等18人)

(5) 関連団体等の文化活動に対する協力

ア、団体・専門機関・出版社等に対する資料の貸与・調査、写真資料掲載等のための協力

- 写真資料の貸与及び印刷物等掲載の承認 申請許可件数:10件/点数:44点
- 資料撮影(館内撮影)・転載(掲載)の承認 申請許可件数:5件/点数:13点
- 収蔵資料の貸与及び展示の承認 申請許可件数:0件/点数:0点

◎事業実施に伴う協力(貸出等の点数は上記承認実績を含む)

- 塩原もの語り館企画展「斎藤茂吉と昆虫のものごと」

那須塩原市塩原もの語り館(特定非営利法人塩原温泉観光協会)主催で平成30年4月1日から同年6月24日までの会期により実施した企画展に伴い、斎藤茂吉肖像写真(10点)の提供協力を行った。

- 森鷗外記念館図書室展示「鷗外と旅するミュージアム ～鷗外資料にさそわれて」

文京区立森鷗外記念館主催で平成30年10月1日から同年10月31日までの会期により実施した図書室展示に伴い、写真資料(1点)の提供協力を行った。

イ、外部団体(個人)の依頼による斎藤茂吉等関連の調査等の協力

- 資料持ち込みによる内容調査(年度内随時)の実施
- 個人・団体発行の冊子・広報紙等における執筆及び情報・資料等の提供

ウ、各種団体の文化活動等に対する協力

- 「第3回U-39 やましん紙上歌会」事業の後援

山形新聞社の主催で、平成30年4月15日から同年9月12日まで(短歌作品募集)により行う短歌作品(小・中・高校生及び一般)の審査と表彰等に伴う後援団体として協力した。

- 「斎藤茂吉記念第25回中川町短歌フェスティバル」事業の後援

北海道中川郡中川町教育委員会の主催で、平成30年6月1日から同年10月31日まで(短歌作品募集:同7月20日まで)により行う短歌作品(小・中・高校生及び一般)の審査と表彰・作品集の刊行等に伴う後援団体として協力した。

2, 頒布事業

公益事業の推進に資するための斎藤茂吉記念館内における頒布事業の実施

- 斎藤茂吉記念館内展示資料等に関連するものを中心とした自主作製頒布：72種(有料)
- 見学者に有益である資料について関連業者からの委託頒布：26種(有料)

3, 法人運営及び施設管理事業

(1) 法人運営(公益財団法人の運営体制の整備等)

ア, 斎藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づく設立と運営・事業の実施

斎藤茂吉記念館に対する協力及び理解を高め、事業活動の推進に資することを目的として、斎藤茂吉記念館開館50周年を記念して平成29年度において制定した公益財団法人斎藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づき、入会の勧誘・促進と事業運営にあたり、運営組織整備と事業を計画し継続的周知と運営整備を実施した。

イ, 斎藤茂吉記念館優待券の交付

斎藤茂吉記念館の公益的運営等を円滑に推進するため、関係・協力者・団体等を対象として継続的に交付(平成27年)している斎藤茂吉記念館優待券(無料入館)の有効期間満了(平成29年度内期限)に伴う更新交付を、平成30年4月27日の斎藤茂吉記念館リニューアルオープン日に合わせて行った。

ウ, 公益財団法人斎藤茂吉記念館大使の任命

斎藤茂吉並びに斎藤茂吉記念館の普及・周知等のために、斎藤茂吉の親族を対象とした大使の任命について、前回任期(平成28年度～同29年度)満了に伴い継続任命(2年間)を行った。

※任命対象者(斎藤茂吉の孫)2氏：斎藤茂太氏長男 斎藤茂一氏・北杜夫氏長女 斎藤由香氏

エ, 斎藤茂吉の親族等に対する対応

上山市金瓶宝泉寺の斎藤茂吉墓域管理並びに整備等の協力を行った。(宝泉寺・金瓶学校保存会の活動に対する協力等)

(2) 施設管理等の整備拡充事業

ア, 管理規則第3条第1項の各号に基づく休館及び休館期間中の活用

平成30年4月1日から改正施行する管理規則に基づく休館を実施し、休館期間中を活用した諸業務を実施した。

- 第3条第1項第1号に基づく休館「水曜日」の実施
- 第3条第1項第2号に基づく休館「国民の祝日に関する法律第3条第2項に規定する振替休日」の実施
- 第3条第1項第3号に基づく休館「前2号に規定する休館日に重なる場合は、その翌日」の実施
- 第3条第1項第4号に基づく休館「12月28日から翌年1月3日まで及び7月第2週の7日」の実施

※7月の休館日を利用した施設・設備の点検、展示ケース内の管理(設備・資料等の点検、収蔵資料等保全のための収蔵庫内くん蒸の実施)／平成30年7月8日(日)から同年7月14日(土)まで

イ, 管理規則第4条第1項に基づく入館料改訂

平成30年4月1日から改正施行する管理規則に基づく新たな入館料の徴収を実施した。

- 個人：大人600円(旧料金500円)・学生300円(旧料金250円)・小人100円(旧料金と同額)
- 団体：大人500円(旧料金400円)・学生250円(旧料金200円)・小人50円(旧料金と同額)

ウ, 斎藤茂吉記念館新施設の利用・管理

- 館内：エレベーター設備機器と周辺設備の利用案内と管理(定期点検)の実施
- 多目的トイレの利用案内と管理の実施

○その他、建物内外のバリアフリー箇所の案内と管理の実施

エ、斎藤茂吉記念館内配布等印刷物の再編・制作・配布等

建物・施設設備・展示・運営内容等の変更に伴い、関連印刷物の制作(入館時配布案内チラシ・展示目録・図録等)・配布と一部有料頒布を行った。

オ、斎藤茂吉記念館周辺の整備

- 斎藤茂吉記念館の料金改訂及び休館日の設定に伴う入口案内表示板の内容変更等の整備
- 斎藤茂吉記念館周知のための案内板の追加設置検討と既存案内板老朽化に伴う改修整備
※みゆき公園内、駐車場周辺、県・市道等沿線等
- 斎藤茂吉記念館駐車場の駐車スペース表示(白枠線)の老朽化に伴う改修整備
- 斎藤茂吉記念館駐車場周辺の整備開発に伴う協力
※上山市温泉健康施設建設計画に対する協力

4、斎藤茂吉記念館開館50周年記念事業

(1) 斎藤茂吉記念館建物等改修工事・展示工事完了後の開館準備に伴う休館

建物本体(内・外装)、電気・給排水設備、公園内付帯施設等工事と展示設備等工事完了後(引渡後)におけるリニューアルオープン準備のための休館を前年度より継続し実施(チラシ等で前年度より周知)した。

※休館期間：平成30年4月1日(日)から同月26日(木)まで

(2) 斎藤茂吉記念館オープニングセレモニー・竣工祝賀会

斎藤茂吉記念館のリニューアルオープン初日における記念の式典と祝賀会行事を実施した。

ア、斎藤茂吉記念館オープニングセレモニー：平成30年4月27日(金)午前10時

- テープカット(斎藤茂吉記念館正面入口前)
- リニューアルオープン入館者第1号に記念品贈呈／先着100名に記念品贈呈
- 内覧会(前日)：平成30年4月26日(木)午前9時～午後5時 ※招待者のみ

イ、竣工祝賀会(招待者のみ)：平成30年4月27日(金)午前11時30分(約2時間)

- 会場：かみのやま温泉「日本の宿 古窯」
※開会、来賓祝辞、経過報告、感謝状贈呈、設計者・施工者挨拶、斎藤家挨拶 他

(3) 斎藤茂吉記念館開館50周年記念祝賀会

昭和43年開館から50周年を記念する行事として、開館記念日に実施した。また、実施に伴う具体的な行事内容等の協議と準備および当日の運営について、斎藤茂吉記念館開館50周年記念祝賀会実行委員会を上山市・上山市教育委員会・当財団の3団体により組織し行った。

- 日時：平成30年9月1日(土)午後2時30分(約2時間)
- 会場：かみのやま温泉「日本の宿 古窯」
※開会、主催者挨拶、感謝状・記念品贈呈、来賓祝辞、斎藤家挨拶、記念講演「世界に誇れる斎藤茂吉 - 三話」(講師：秋葉四郎館長) 他

(4) 『斎藤茂吉記念館開館50周年記念誌』

昭和43年開館から現在に至るまで50年間の組織・運営、規模等の変遷、関わった人びと、事業などを主な掲載内容として、平成31年3月31日付で発行した。

(5) 記念事業の記念品(物販品)開発

開館50周年事業の行事記念品及び館内物販品として茂吉のふるさとブランド(オリジナル商品)の具体的な商品化を目指した開発促進と制作販売を行った。

- 茂吉ゆかりの木「アララギの木」利活用(木製葉・短冊)
- 50周年記念グッズの開発(記念切手・茂吉短歌かるた[館内展示用に制作] 他)

(6) 記念事業の周知・誘客

ア、山形県内テレビ放送コマーシャル

リニューアルオープンの告知と開館時の誘客を目的としたピーアールのために、テレビ 15 秒CMを実施した。

※実施期間：平成 30 年 4 月 16 日(月)から同年 5 月 15 日(火)まで 30 日間/45 本

イ、山形県内新聞広告掲載

リニューアルオープンの告知と開館時の誘客を目的としたPRため、斎藤茂吉記念館新装開館の見所・挨拶・広告の掲載を行った。

※平成 30 年 4 月中/1 頁(15 段カラー刷)全面広告(一部関連業者広告枠掲載)

ウ、テレビ特別番組の放送

斎藤茂吉の功績・斎藤茂吉記念館の新装内容・記念式典等をダイジェストで紹介する番組の制作・放送を山形放送に対し行い、「斎藤茂吉記念館開館 50 周年記念特別番組/茂吉追憶」の番組として、平成 30 年 9 月 30 日(日)午後 4 時 25 分から 30 分間の放送を実施した。

エ、上山市内の小学校・中学校・高等学校の児童・生徒を対象とした無料入館

斎藤茂吉への感心を高めるとともに新装した斎藤茂吉記念館の周知などのため、各学校の夏休みと冬休み期間中における児童・生徒の入館料金免除を行い、またその無料入館を実施するために「はじめての親子で茂吉(夏休み冬休み)ご招待」のパンフレットを作成し対象児童・生徒に配布した。

4, 経過報告

《平成 30 年》

- | | |
|----------|--|
| 4 月 1 日 | 職員(事務局長)の任命辞令発令
職員(業務係学芸員・業務係主事)2 人の任命・昇給辞令発令
嘱託職員 2 人の任命辞令発令
斎藤茂吉記念館建物等改修工事期間中における休館(4 月 26 日まで) |
| 5 月 22 日 | 平成 29 年度山形県博物館事業共催負担金実績報告書の实地検査(検査員：山形県観光文化スポーツ部県民文化スポーツ課職員 2 人) |
| 6 月 5 日 | 平成 29 年度業務執行監査(斎藤茂吉記念館館長室 監事 2 人) |
| 6 月 13 日 | 公益財団法人斎藤茂吉記念館第 23 回理事会の開催(上山市中部地区公民館会議室)
○承認事項
承認第 19 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 29 年度事業報告、計算書類等について
○決議事項
議第 72 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館退職手当支給規程の一部を改正する規程の制定について
議第 73 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 30 年度収支予算補正(第 1 回)について
議第 74 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館第 19 回評議員会の招集決定について
※報告事項 (1) 職務執行報告について 1. 事業執行状況 2. 入館者状況
(2) 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 29 年度資金運用状況報告について |
| 6 月 27 日 | 公益財団法人斎藤茂吉記念館第 19 回評議員会の開催(上山市役所政策会議室)
○承認事項
承認第 44 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 29 年度計算書類等について
承認第 45 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 30 年度収支予算補正(第 1 回)について
○決議事項
議第 37 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館退職手当支給規程の一部を改正する規程の制定について |

- 議第 38 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館理事の選任について
 ※報告事項 (1) 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 29 年度事業報告について
 (2) 職務執行報告について 1. 事業執行状況 2. 入館者状況
 (3) 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 29 年度資金運用状況報告について
- 6 月 27 日 公益財団法人斎藤茂吉記念館第 24 回理事会の開催(役員選定書面決議)
 7 月 8 日 管理規則第 3 条の規定に基づく休館(7 月 14 日までの 7 日間)
 10 月 3 日 公益財団法人斎藤茂吉記念館第 25 回理事会の開催(上山市中部地区公民館多目的ホール)
 ○決議事項
 議第 75 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 30 年度収支予算補正(第 2 回)について
 議第 76 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館第 20 回評議員会の招集決定について
 ※報告事項 (1) 職務執行報告について 1. 事業執行状況 2. 入館者状況
 (2) 公益財団法人斎藤茂吉記念館資金運用状況報告について
- 10 月 24 日 公益財団法人斎藤茂吉記念館第 20 回評議員会の開催(上山市役所政策会議室)
 ○承認事項
 承認第 46 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 30 年度収支予算補正(第 2 回)について
 ○決議事項
 議第 39 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館定款の一部を改正する定款の制定について
 ※報告事項 (1) 職務執行報告について 1. 事業執行状況 2. 入館者状況
 (2) 公益財団法人斎藤茂吉記念館資金運用状況報告について
- 12 月 12 日 斎藤茂吉記念館増築に伴う建物表題部変更登記完了
- 《平成 31 年》
- 3 月 6 日 公益財団法人斎藤茂吉記念館第 26 回理事会の開催(上山市中部地区公民館会議室)
 ○承認事項
 承認第 20 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 31 年度資金運用計画について
 承認第 21 号 基本財産(公益目的事業を行うために不可欠な特定財産以外のもの)の除外について
 ○決議事項
 議第 77 号 重要な使用人の選任について
 議第 78 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 30 年度収支予算補正(第 3 回)について
 議第 79 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館給与規程の一部を改正する規程の制定について
 議第 80 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 31 年度事業計画について
 議第 81 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 31 年度収支予算について
 議第 82 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館第 21 回評議員会の招集決定について
 ※報告事項 (1) 職務執行報告について 1. 事業執行状況 2. 入館者状況
- 3 月 20 日 公益財団法人斎藤茂吉記念館第 21 回評議員会の開催(上山市役所政策会議室)
 ○承認事項
 承認第 47 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 30 年度収支予算補正(第 3 回)について
 承認第 48 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 31 年度資金運用計画について
 承認第 49 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 31 年度事業計画について
 承認第 50 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館平成 31 年度収支予算について
 ○決議事項
 議第 40 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館給与規程の一部を改正する規程の制定について
 議第 41 号 基本財産(公益目的事業を行うために不可欠な特定財産以外のもの)の除外について
 議第 42 号 公益財団法人斎藤茂吉記念館定款の一部を改正する定款の制定について

3月31日

※報告事項 (1) 職務執行報告について 1. 事業執行状況 2. 入館者状況
山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づく定款の一部変更(基本財産の額)、事業計画等(平成30年度事業計画書・収支予算書等)に係る提出書の提出

5, 役員に関する事項

(1) 理事

代表理事	相馬健一
理事	大久保義彦
理事	木村福治
理事	清野伸昭
理事	晋道純一
理事	佐藤信幸
業務執行理事	木村義博

(2) 監事

監事	川合賢助
監事	井上真一

(3) 評議員

評議員	横戸長兵衛
評議員	高橋義明
評議員	山口博子
評議員	古山茂満
評議員	大瀧保
評議員	佐竹瑞夫
評議員	後藤恒裕